

山麓探偵団を、山賊探偵団とか、山麓探偵所とかにカン違いされていたのは、発足当時の笑い話でしたが、おかげさまでこの活動は、仲間内で徐々に認知され、今年でのべ224回、十四年目にはいろいろとされています。

毎年十一月は、ガラリエ・オムさんのご協力で、観察眼の応用編を企画しています。

型紙や紙テープを布に配置して、満身創痍の布から、思いがけない絵が現れるのは、まるで雲の中から突然顔を出す富士山そのものだったように感じました。

木村団長のきめ細かいご指導により、参加者七名のそれぞれの富士山が、テーブル・センター、詩のタペストリー、コースターなどの作品に描かれました。

## ▼参加者の感想文

よく晴れた木曜日、かねてから願っていた探偵団への参加で、今回は室内での自然体験、ステンシルという技法を用いた作品作りです。

団長さんの素敵なアトリエに着くと早速「まずは自分の富士山を

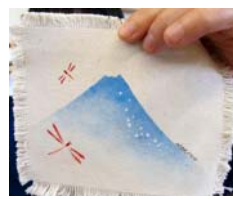
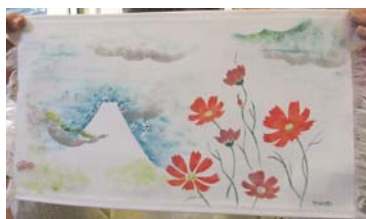
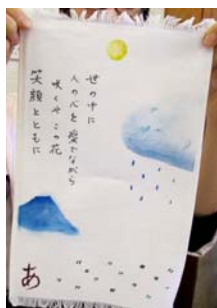
描いてみましょう」とおっしゃる。「えっ！」と狼狽ながらも、ラフスケッチをしていると、そのうち妙に集中して楽しくさえなつてきます。

毎日仰いでいる富士山を思い出しながら描いていると、構想も次第に湧いて来て物語まで生まれて来ました。その後いよいよ布にデザインした絵を写します。



↑アトリエ風景と作品↓

団長さんは技法はもちろん、形や色、線の流れなど私の表現したいことを実的に確に汲み取りながら、一層豊かに表現出来るよう提案してくださいます。日頃の細やかな自然観察とその表現をその中に感じて、一言一言に頷きました。その後はさらに集中してあつたという間に終了時刻となり、作品をそれぞれに掲げて自画自賛会。団長さんの感想の言葉も暖かく充実した満足の日でした。ありがとうございました。(K・Y)



髷 澁 倭 幽 岬

今年最後の活動となりました。楽しかったり、辛かったり、美味しかった日々が思い出されます。さて十二月の活動は、アルピニストの戸高雅史さんを団長に、山中湖畔周辺の道なき道を、それぞれの歩調と歩幅で分け入ります。

・日 時 十二月十三日(木)  
集 合 午前9時半  
森の喫茶室あみん

・参加費 2300円

・持ち物 昼食・雨具・防寒着・手袋・帽子・ホカロン・敷物・マイカップ・任意でストック、ポケット楽器、双眼鏡。

○ 申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願いします。

◎なお、来年二〇一三年度の活動は、内容をリニューアルして、ご案内します。詳細は、別添の「お知らせ」をお読みください。

発行 杆・澁 事務局  
山梨県山中湖村平野一六九八  
電話 〇五五五・六五・七〇二三